

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2021年2月1日

【四半期会計期間】 第28期第3四半期(自 2020年9月21日 至 2020年12月20日)

【会社名】 株式会社エスティック

【英訳名】 E S T I C C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 弘英

【本店の所在の場所】 大阪府守口市東郷通一丁目2番16号

【電話番号】 06-6993-8855

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理部長 伊勢嶋 勇

【最寄りの連絡場所】 大阪府守口市東郷通一丁目2番16号

【電話番号】 06-6993-8855

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理部長 伊勢嶋 勇

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第27期 第3四半期 連結累計期間	第28期 第3四半期 連結累計期間	第27期
会計期間		自 2019年3月21日 至 2019年12月20日	自 2020年3月21日 至 2020年12月20日	自 2019年3月21日 至 2020年3月20日
売上高	(千円)	5,254,971	4,019,570	6,773,705
経常利益	(千円)	1,480,928	769,078	1,754,134
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	983,226	517,221	1,193,317
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	990,933	524,838	1,207,147
純資産額	(千円)	5,809,002	6,309,399	6,025,215
総資産額	(千円)	7,448,759	7,209,157	7,145,833
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	374.84	208.64	460.78
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	77.4	86.7	83.7

回次		第27期 第3四半期 連結会計期間	第28期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年9月21日 至 2019年12月20日	自 2020年9月21日 至 2020年12月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	77.01	89.38

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)経営成績の分析

##### 国内市場

当第3四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の第3波の拡大により依然として経済活動の本格的再開が見えない中ではありますが、ウィズコロナによる施策も広がりを見せ経済活動も徐々に回復の実態が見えつつある状況となりました。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、未だ一部の顧客において訪問制限、接触制限が継続されており、顧客とのコンタクトが完全に回復したとは言えない状況が継続しております。また大型設備案件においては計画の先送りや見直し途上の客先が多く、未だ市場環境は先行きが読みづらい状況にあります。

##### 米国市場

新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況下ではありましたが、当社の主要顧客における設備投資は比較的早期に回復を示しており、売上高においてはハンドナットランナを中心に前年同期を上回る状況となりました。

##### 中国市場

新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少しておりますが、他地域に先んじて経済活動が回復しており、大型設備投資の回復は多少時間を要すると思われませんが、工具であるハンドナットランナの需要は早期に回復し前年同期を上回る状況となり、全体では売上高で前年同期比微増まで回復いたしました。

##### その他の市場

全地域において新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況下ではありますが、地域によっては徐々に回復傾向を示しつつあります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上状況は、上記の市場環境により全品種とも前年比減収となり売上高4,019百万円(前年同四半期比23.5%減)となりました。

利益状況は、従業員の新規増員抑制や経費削減等による固定費削減を実施しましたが、売上高が大幅に減少したことにより固定比率が上昇した結果、営業利益767百万円(前年同四半期比48.9%減)、売上高営業利益率19.1%(前年同四半期は28.6%)、経常利益769百万円(前年同四半期比48.1%減)、売上高経常利益率19.1%(前年同四半期は28.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益517百万円(前年同四半期比47.4%減)となりました。

地域別売上においては、国内市場の回復が遅く、北米及び中国市場の回復が顕著であったことから海外売上比率が上昇し、海外売上高2,375百万円(前年同四半期比3.2%増)、国内売上高1,644百万円(前年同四半期比44.3%減)、売上全体に占める海外売上比率は59.1%(前年同四半期は43.8%)、国内売上比率は40.9%(前年同四半期は56.2%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、7,209百万円と前連結会計年度末比63百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、原材料が192百万円増加した一方、仕掛品が120百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、899百万円と前連結会計年度末比220百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、未払法人等が157百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、6,309百万円と前連結会計年度末比284百万円の増加となりました。増減の主な内訳は利益剰余金が276百万円増加したためであります。

(3)経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、245百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,000,000
計	5,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年12月20日)	提出日現在 発行数(株) (2021年2月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,942,000	2,942,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株でありま す。
計	2,942,000	2,942,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月21日～ 2020年12月20日		2,942,000		557,000		639,750

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年9月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年9月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 463,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,477,200	24,772	
単元未満株式	普通株式 1,800		
発行済株式総数	2,942,000		
総株主の議決権		24,772	

(注) 「単元未満株式」には当社所有の自己株式が19株含まれております。

【自己株式等】

2020年9月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エスティック	大阪府守口市東郷通一丁 目2番16号	463,000		463,000	15.73
計		463,000		463,000	15.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年9月21日から2020年12月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月21日から2020年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	544,878	662,414
受取手形及び売掛金	1,775,158	1,690,875
電子記録債権	338,009	358,785
商品及び製品	443,131	454,504
仕掛品	332,438	212,222
原材料	1,107,068	1,299,840
その他	89,061	127,309
貸倒引当金	2,148	2,049
流動資産合計	4,627,597	4,803,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	853,881	823,778
土地	830,106	830,106
その他(純額)	189,794	148,736
有形固定資産合計	1,873,781	1,802,621
無形固定資産	42,781	46,961
投資その他の資産		
繰延税金資産	189,705	133,743
その他	412,767	422,728
貸倒引当金	800	800
投資その他の資産合計	601,672	555,671
固定資産合計	2,518,236	2,405,255
資産合計	7,145,833	7,209,157



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	191,026	228,994
未払法人税等	269,173	111,252
賞与引当金	61,712	17,888
役員賞与引当金		22,509
製品保証引当金	55,000	45,000
その他	319,923	229,912
流動負債合計	896,835	655,556
固定負債		
退職給付に係る負債	210,636	234,469
その他	13,145	9,732
固定負債合計	223,781	244,201
負債合計	1,120,617	899,758
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	6,226,446	6,503,207
自己株式	1,461,410	1,461,604
株主資本合計	5,961,785	6,238,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,236	33,568
為替換算調整勘定	5,081	18,465
その他の包括利益累計額合計	16,154	15,103
非支配株主持分	47,275	55,942
純資産合計	6,025,215	6,309,399
負債純資産合計	7,145,833	7,209,157

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
売上高	5,254,971	4,019,570
売上原価	2,791,720	2,299,950
売上総利益	2,463,251	1,719,620
販売費及び一般管理費	960,712	952,531
営業利益	1,502,538	767,089
営業外収益		
受取利息	91	71
受取配当金	2,713	2,735
持分法による投資利益	5,205	-
雇用調整助成金	-	11,880
その他	1,085	2,078
営業外収益合計	9,094	16,765
営業外費用		
為替差損	10,715	2,958
自己株式取得費用	19,327	-
持分法による投資損失	-	11,797
その他	661	19
営業外費用合計	30,704	14,776
経常利益	1,480,928	769,078
税金等調整前四半期純利益	1,480,928	769,078
法人税、住民税及び事業税	457,307	188,240
法人税等調整額	24,722	50,612
法人税等合計	482,029	238,852
四半期純利益	998,898	530,225
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,672	13,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	983,226	517,221

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
四半期純利益	998,898	530,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,977	12,332
為替換算調整勘定	4,857	18,961
持分法適用会社に対する持分相当額	14,084	1,240
その他の包括利益合計	7,965	5,387
四半期包括利益	990,933	524,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	973,993	516,170
非支配株主に係る四半期包括利益	16,940	8,667

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症について)

当期の連結財務諸表の作成にあたって、新型コロナウイルス感染症が当社グループの業績に与える影響については、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しつつ当期後半から翌期初頭にあたり上向きになるとの仮定に基づき、会計上の見積りを行いました。現時点においては重要な影響を与えるものではないと判断しておりますが、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表の作成に影響を与える可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
受取手形	73,453千円	23,620千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
減価償却費	86,148千円	109,793千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月19日 定時株主総会	普通株式	233,836	86	2019年3月20日	2019年6月20日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年7月26日開催の取締役会決議に基づき自己株式240,000株の取得等を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,243,049千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,461,410千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月18日 定時株主総会	普通株式	240,461	97	2020年3月20日	2020年6月19日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
1株当たり四半期純利益金額	374円84銭	208円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	983,226	517,221
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	983,226	517,221
普通株式の期中平均株式数(株)	2,623,023	2,478,976

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年2月1日

株式会社 エスティック  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西 野 尚 弥
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北 池 晃 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスティックの2020年3月21日から2021年3月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年9月21日から2020年12月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月21日から2020年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスティック及び連結子会社の2020年12月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。